新たにオープンする河鹿荘の新館の一室。全て洋室で統一された（南丹市美山町中）

「河鹿荘」新館が完成

南丹市の宿泊施設 1日オープン

南丹市美山町自然文化村にある市の宿泊施設「河鹿荘」の増築工事が完了した。新館は客室が全て洋室で、利用者のより幅広いニーズに対応できるようにした。9月1日から営業を開始する。

河鹿荘は1989年に開業し、乳製品の製造販売などを手掛ける「美山ふるさと」が指定管理者となって運営している。宿泊客の増加に合わせ、2018年から市が増築を進めていた。

新館は鉄骨造の2階建てで、延床面積153平方㍍。従来の施設（12室）は和室のみで大浴場を備えていたが、新館の10室は洋室で統一。1室に最大4人まで宿泊可能で、部屋ごとにシャワーやトイレを完備した。エレベーターやレストランもある。総事業費7億2400万円。

24日には竣工式が行われ、西村良平市長は「河鹿荘も時代に合わせたスタイルに変わった。かやぶきの風景を楽しむ拠点となれば」と話した。20日から電話で予約を受け付けており、9月からは旅行サイトなどでも予約ができる。（古都千鶴）

おもな交通取り締まり 26日

【携帯電話】下京署＝烏丸通